



▲トップでフィニッシュした大宮地Aチーム

沿道の声援を受け、タスキをつなぐ

新和町一周駅伝大会

1月20日、「第48回新和町一周駅伝大会」が行われ、新和町民センターをスタート・フィニッシュとする10区間23.9kmのコースに16チームが参加しました。

この日は好天に恵まれ、選手たちは沿道からの声援を受けながら、一生懸命に走りタスキをつないでいました。結果は、大宮地Aチームが6年ぶりに優勝しました。

“ゆくり”の特産化を目指して

ゆくり（スモモ）の講習会

五和町の城河原地域づくり振興会では、地元で“ゆくり”と呼んでいるスモモ（いくり）を、「五久里」と銘打ってリキュールやアイスに加工するなどの特産化を進めています。2月6・7日には、地元住民を対象に講習会を開催し、40人が参加。天草地域振興局農業普及・振興課の職員と同振興会・岩崎特産品部長が、スモモの種類や特徴について説明されたほか、実際にゆくりの枝を使いせん定作業の講習が行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。



▲せん定の説明を受ける参加者



▲歌に合わせて地面を叩く児童たち

願いを込めて地面を叩く！

もぐら打ち

2月3日、栖本町の中河内地区で五穀豊穡や家内安全を願う伝統行事「もぐら打ち」が行われ、地元子どもなど22人が参加しました。子どもたちは、早朝から地区住民といっしょに、約2mの竹にわらを巻き付けてもぐら打ちの道具を製作。その後、同地区の70軒を訪問し、庭先で「今日は楽しい小正月。畑八反、田八反、もぐらの腰骨折ってこい」と元気よく歌いながら地面を叩いていました。



▲景色を楽しみながら歩く参加者

360度を見渡せる大パノラマを堪能

鳥峠パノラマ・ウォークin御所浦

2月11日、御所浦町の鳥峠山頂をめぐり「鳥峠パノラマ・ウォークin御所浦」が開かれ、県内外から約420人が参加しました。同実行委員会が、健康づくりを目的に初めて開催したもので、パノラマとは広い眺望を意味する言葉。参加者は、5.3kmのコースをウォーキングと登山マラソンに分かれて、思いおもいのペースで登山を楽しんでいました。ゴール後は、山頂で360度の眺望を堪能しながら、ふるまわれた豚汁などに舌鼓をうっていました。また、地元の特産品が当たる抽選会も行われ、大いににぎわいました。

企業と地域との新たな関係構築に向けて自治体間で連携

地域の起業・二地域就労促進市町村連合政策サミット

市では、都市部の企業の社員による天草での活動・就労を支援することで、新たな雇用創出や地域おこしなどをめざす「二地域就労促進事業」を、京都大学経営管理大学院と共同で進めています。2月4日には、この取り組みをほかの自治体とも共有し連携を深めるため、「地域の起業・二地域就労促進市町村連合政策サミット」を市内のホテルで開催。同大学院の小林潔司教授が基調講演を行った後、同大学院の高村義晴客員教授をコーディネーターに迎え、人吉市の田中信孝市長、大分県日田市の原田啓介市長、奈良県明日香村の森川裕一市長、安田市長が参加してパネルディスカッションを実施。参加した150人は、各自治体の取り組み事例などを熱心に聞き入っていました。



▲講演を行う小林教授



▲パネルディスカッションのようす

男女がともにつくる新しい社会へ

有明町農事講演会

1月22日、「有明町農事講演会」が有明町民センターで開かれ、農業者など約200人が参加しました。

九州で初めての女性の町長として平成14年に福岡県杷木町長に就任され、その後、福岡県男女共同参画センターの館長も歴任された中嶋玲子氏が、「農村に今こそ活かそう女性の力！」と題して講演。

「女性が変われば地域は変わる。でも、男性が変わらなければ社会は変わらない」と話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲講演を行う中嶋氏

楽しいダンスでにっこり

家庭教育学級

2月1日、亀場町公民館と亀場幼稚園による「家庭教育学級」が同幼稚園で開かれ、園児と保護者など90人が参加しました。親子の触れ合いを図りながら、家庭教育力を高めることを目的に年に3回開催されているもの。今回は、天草フォークダンス愛好会の皆さんを招いてダンス講習を実施。参加した親子は、音楽に合わせて手と手でタッチを交わしたり、参加者どうして輪になって踊ったりするなど、笑顔で取り組んでいました。



▲輪になって踊る参加者